

第4回検討委員会に対する保護者等からの主な意見

1. 概要

1) スマート連絡帳によるアンケート

12月23日に開催した第4回各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会に関して、スマート連絡帳（保護者連絡アプリ）を通じて市内の小中学校児童生徒の保護者及び市内の未就学児の保護者に対してアンケートを実施しました。

表 実施概要

対象者	市内の小中学校児童生徒の保護者及び市内の未就学児の保護者
配信方法	スマート連絡帳（保護者連絡アプリ）
配布資料	・第4回各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会 NEWSLETTER No.4
実施期間	令和8年1月16日～1月30日

アンケートではお住まいの小中学校区について回答していただいた上で、第4回検討委員会の議題に対して意見や質問を募集しました。

表 設問内容

Q1-1.あなたのお住まいの小中学校区を教えてください。	【自由記述】
Q2.ご意見、ご質問に関する議題を選択してください。	【以下の選択肢より選択（複数選択可）】 議題1「第3回検討委員会の振り返り」について 議題2「学校適正規模・適正配置等に関する基本計画（素案）」について 議題3「再編計画の検討プロセス（修正案）」について その他（学校再編にあたり配慮してほしい事項など）
Q3.選択した議題等について、ご意見やご質問を記入してください。	【自由記述】

2. 集計結果

1) スマート連絡帳によるアンケート

第4回検討委員会の内容に関する意見や質問を各議題ごとに要約・整理しました。

● 議題1「第3回検討委員会の振り返り」について

小規模校の解消は必要という意見が多くみられました。また、学校再編にあたってはスクールバスの導入が必要と考えるものの、導入する際には運用方法の検討が必要という意見が一定数みられました。一方で保護者説明会について、平日の昼間に開催されたため、参加できなかったという意見がいくつかみられました。また、具体的な再編案を提示しながら、今後の議論を進めていくべきといった意見もみられました。

【主な意見】

- ・小規模校だと、クラス替えができず、人間関係の幅が狭まるので、複数のクラスがあった方がいいと思う。
- ・クラス替えがない学校でのいじめ問題は深刻だと思う。
- ・小規模校のトラブルに対する不安は共感できる。適正化の必要性が理解できた。
- ・小中一貫に理解があることが多いことがわかった。少人数学校は、クラス替えがないと、トラブルが多い学年は本当に大変であるため、統合するべきだと思う。
- ・小規模学校だからこそ起きやすいトラブルについて、早期に解決するために学校再編を迅速に実施して欲しい。
- ・学校からの距離が遠い家庭は夏場の熱中症が心配なので、特に下校時のスクールバスの導入は良いと思う。スクールバスを駐車する場所がないため、その時間の近隣への配慮も必要である。
- ・保護者説明会に参加しなかったが、平日の昼間からだった為、仕事があり参加することができなかった。そういった保護者も多くいると思う。説明会はもっと沢山の保護者が参加できる環境を整えてほしい。
- ・振り返りの中で、説明会参加者が少ないことに言及されているが、今の時代、夫婦共働きが多数であるにも関わらず平日午前の開催であった事に疑問を感じる。議事録のほか録画配信など、信頼出来る情報源を共有いただきたい。
- ・具体的な実施案(どこの校舎をどこの地域の児童が利用するのか、建て替え工事の順番等)がいくつかあると具現化しやすいのではないかと思う。
- ・再編時期の明示について、経過の図(工程表みたいなもので、進捗状況がわかるもの)をつけてほしい。

● 議題2「学校適正規模・適正配置等に関する基本計画(素案)」について

1クラス当たりの児童生徒数について、児童生徒へのゆとりや教職員の負担軽減の観点から、最大人数を30人にしてほしいという意見が一定程度みられました。また、スクールバスの導入に合わせて登下校の見守り活動に関する意見もいくつかみられました。その他PTAの維持や伝統やイベントの継承、学童保育の今後の展開、跡地活用などに関する意見もみられました。

【主な意見】

- ・1クラスの人数が多く教室が狭く感じ、参観日などは教室が狭く教室に入って児童を見れていない保護者が廊下に立っている。
- ・先生の負担が減るよう、クラスの最大人数を30人までとする、体育、音楽など専門性のある教科の外部講師導入、水泳の授業を施設で一括して行う、担任補助を増やす、など実施してほしい。
- ・1クラスの人数を25人以下にしてほしい。学校が遠いため、中学では自転車通学を認めてほしい。
- ・1クラスの人数について上限30人を希望する。35人と24人のクラスを経験したが、先生のゆとりの違いを感じている。
- ・1学級につき30人を超える児童生徒数を1人が担任する現状はかなり過酷でないかと感じている。多様性を認める、個人を尊重するという社会の風潮の中で、先生への負担を減らし、先生も子どもももう少しゆとりを持って日々生活できるのが良いのではと感じる。
- ・スクールバスは、大切な子どもたちが安全に登下校できるよう導入を希望する。登下校の見守り活動については、PTA会員など関係なく保護者全員がやるべきだと思うが、だからこそスクールバスの導入をお願いしたい。
- ・スクールバスについて、自宅が校区の端なので中学校までかなり距離があることや、中学生は小学校の下校班のようなものは無く、1人で帰る可能性も考えると下校時の防犯面も心配であるため、是非導入していただきたい。
- ・人数が少ない学校が増えているため、再編は仕方ないが、徒歩で通学する場合は遠くて大変なため、その対応を考えなければならないと思う。
- ・児童生徒の人数の差を無くす事は良いと思うが、通学時間が長くない様に考えて欲しい。
- ・最近自治会や子ども会、PTAのいずれにも加入しない世帯が増えており、その結果保護者や子どもと地域とのつながりが弱くなってきている。
- ・PTAについて、周りに合わせて加入しているが、今のところメリットを感じておらず、働いている人が増えている中で役員の負担が大きすぎると思う。PTAが本当に必要かどうか、全会員にアンケートを取り、本当にやりたい人だけでやれば良い。
- ・地域で大切にしている伝統、イベントはそのまま引き継いでいけるようにするのいいと感じた。
- ・学童保育を利用していた立場から、そちらの方がどのような方向になるのかも気になっている。
- ・再編により生じる空き校舎については、企業等への貸し出しなど、地域資源として有効に活用していくことが望ましいと思う。

● 議題3「再編計画の検討プロセス(修正案)」について

スクールバスの導入について、デメリットよりもメリットが大きいという意見やそもそもデメリットがないといった意見もみられました。学校再編については、住居地の偏りを含め、柔軟に検討してほしいといった意見もみられました。

【主な意見】

- ・スクールバスは遠くの家の子が早く帰ることができることや、重たい荷物も大変なので、メリットしかないと思う。
- ・スクールバスのデメリットは、あまり感じられない。現在、児童数が減ってきており、班通学が出来ていないことが多いと思う。
- ・スクールバスに関しては、体力の低下等のデメリットも懸念があるが、荷物の多さ(水筒、タブレット、教科書、週末の給食袋、上靴等々)・変質者・交通事故・過酷な猛暑日が連続していること等踏まえると保護者としては導入してほしい。
- ・鶯沼第三小学校と緑苑小学校のみの再編では、あまり意味がないように思う。もう少し広い範囲で考えていただきたい。
- ・学校再編によって住居地に偏りが出るため、将来的な学校区を想定した学校再編に伴う区割りを適正に実施してもらいたい。

● その他(学校再編にあたり配慮してほしい事項など)について

スクールバスの導入を望む意見が本設問以外も含めて多くみられました。また、学校再編に合わせて学校校舎についても、新規校舎の建設や既存校舎の建替等を柔軟に検討してほしいという意見がいくつかみられました。同時に学校の再編時には、学校選択制の導入や、学校区の境界に隣接する地域において、通学距離等を勘案した学校区の調整について意見がみられました。その他としては、コミュニティ・スクールの利活用や実施時期の明確化等を求める意見がみられました。

【主な意見】

- ・小中一貫になるのであれば、制服廃止の検討もお願いしたい。校舎はなるべく新しいものが望ましい。システムや編成についてだけでなく、過ごしやすい場所、望ましい校舎の間取りを考慮して欲しい。
- ・今ある学校内の設備(トイレなど)の見直しを前向きに検討してほしい。新しく建設された学校はもちろん綺麗で良いが、老朽化の事を思うと、既存の学校の見直しも考えてほしい。
- ・再編成も大切だが、校舎の老朽化についても、この再編成のタイミングで取り残しの無いよう進めて頂きたい。
- ・全員にとって良いカタチというのは無理があるため、学校を校区関係無く、選択制にすれば良いと思う。自宅から遠い学校を選びたいのであれば、それは保護者が責任持って送迎すべき。
- ・校区をフリーにして小学校を選べるようにしてほしい。校区があることで、それぞれの小学校の特徴や強みを活かした取り組みを競争化してもらいたい。
- ・学校再編で校区の境界にあたる子は学校選択できたらいいと思う。
- ・川島地区の中でも、小網町は川島中学校よりも稲羽中学校の方が距離は近い。「再編」を考える上で、「人数」だけではなく、そういった「距離」も候補にもらえると思う。スクールバスの導入により、小網町は稲羽東、笠田町は稲羽西小学校にすることも可能ではないかと思う。
- ・三ツ池町3丁目は中央小学校へ行ったらどうか。踏切、交通量の多い道を渡って行くのは危険だと思う。
- ・最近子ども会が縮小傾向にあり、PTAも脱退する方が増えている。学校についての議論は、我が子中心だけでなく、校区全体、学校の立場、地域との関わり等、広い視野で保護者が検討しなければと思う。
- ・コミュニティ・スクールについて関心がある。少子化や教師の働き方改革で部活のバリエーションが少なく面白みが感じられない。多様化社会、外部講師を積極的に採用して面白い放課後活動はできないか。少人数でも同じ興味のあるもの同士が集まり充実感のある学校生活を送ってほしいと思う。
- ・支援学級の子どもは環境の変化に敏感であるため、支援学級に通っている親としては、やらないといけないことはわかっているが、再編の動きは心配である。
- ・学校再編は、少子化に伴い、必須のことで円滑に勧められるよう、議論が必要だと思う。
- ・慎重に考えていくことも大事だが、遅すぎることはないように時期をきちんと考えて実施して欲しい。
- ・学校再編の方向性や時期が見えてこないで、通学させている親としては小学生時代の途中になるのではと不安である。
- ・小規模校ならではの良さをなくさないで欲しい。